

枕崎通信 Vol.2

“まぐさむね”って どんな魚なん？

このコーナーでは、友好都市締結10周年を記念して、両市の
広報紙で紙面交流を行います。
2回目となる今回は、枕崎市のプロフィール、特産品やみど
ころを紹介いたします。

■プロフィール

枕崎市は、鹿児島県薩摩半島の南端に位置し、南は黒潮が流れる広大な東シナ海に臨む景勝の地にあります。

形状はほぼ五角形、面積は74.78km²で利尻町と同じくらいの大きさです。年間の平均気温は約18℃で、年間を通して寒暑の差が少なく、温暖で

比較的雨が多い土地です。夏は気温が30℃を超え、海風で運ばれる水蒸気により蒸し暑い日がありますが、南国らしい太陽と潮香る風を感じることもできます。

人口は、令和4年5月1日時点の住民基本台帳人口で19,857人です。



鹿児島県枕崎市の位置図

■特産品

全国でも有数の港町(特定第三種漁港)で、漁港単独では日本で初めて開港指定常時外国貿易のために開かれている港も受けており、港には外国船も入港します。枕崎港では、カツオをはじめとするさまざまな魚類が水揚げされています。



新鮮な鯷



天日干しされる鯷節

「枕崎鯷節」は、生産量日本一で日本の食卓を支えています。また、暖地性を活かした農業も盛んで、特にお茶や電

照菊の一大生産拠点となっています。



みどり鮮やかな茶畑

明治時代から続く焼酎蔵の職人が、枕崎の大地で育ったサツマイモを原料に、情熱と伝統の技で生み出す「さつま白波」は、焼酎文化の広がりとともに全国に知れ渡っています。手間を惜しまない丁寧な仕事により生み出される本市の特産品は「品質の高い丁寧・本物」として広がりを見せています。



焼酎造りを見学できる明治蔵



さつま白波

■みどころ

市南部の海岸沿いに位置する火之神公園では、沖にそびえ立つ標高42mの「立神岩」や薩摩富士「開聞岳」を臨む絶好のロケーションを求め、キャンプ客が大いに賑わっています。



火之神公園からみた立神岩



火之神公園キャンプ場

航海の安全と大漁、五穀豊穣、商売繁盛、地場産業の振興を祈念して開催される、さつま黒潮「きばらん海」枕崎港

まつりは、1年のうちでもっとも熱気を帯び、勇壮な神輿と総踊りにまちは沸き立ちます。フィナーレは1万発の花火が夜空を彩り、三尺玉の巨大な花火は、見る人の心を揺さぶります。



まちを練り歩くかつお神輿



名物三尺玉の花火

問い合わせ

稚内市企画調整課広報・広聴グループ

☎ 0162-236387

枕崎市総務課秘書広報係
☎ 0993-720033